

山形県 参議院議員 芳賀道也後援会〈会報誌〉

Haga Michiya Times

## はがみちや タイムズ

発行元：芳賀道也事務所◎〒990-0825 山形県山形市城北町1丁目24-15 ダイア66 城北2F・A TEL.023-676-5115 FAX.023-676-5116

2020.4

春

VOL.02

## コロナに負けない がんばろうニッポン がんばっぺ！山形



## 新型コロナウイルス対策に全力!!

3月23日参議院予算委員会にて初質問、初のNHK中継

世界中が命の危機にある時、与党も野党もなく命を守るために協力していかうと呼びかけました。

その上で、米国の230兆円、ドイツの16兆円、フランスの5兆円、イタリアの3兆円に比べて、日本の4308億円(3月23日時点)ではあまりにも少なく、対策も遅すぎると追及。

第一弾として、30兆円プラスアル

ファアの経済対策を提案している国民民主党の例をあげ、「本当に国民の声を聞いて、より強いメッセージ、安心できる具体策をもち早く出して、国民に安心を与えてほしい」と安倍内閣に強く要望しました。

## 給食食材を納入する業者等への補償を要請

山形でも、公立学校の休校による給食ストップのために、コメ・野菜・牛乳など食材を納入していた業者や法人、さらには生産農家などが大変な損害を受けています。この対策を江藤農水大臣に求めました。

江藤農相からは「すでに発注していたものは違約金を払い、それ以外も漏れがないように把握して、文部科学省とも連携、しっかり補償する。契約書のないもの、直売所の納入、代替出荷で余分に運送料が発生したものもすべて補償対象だ」と確約をもらい、翌日の日本農業新聞にも大きく報じられました。



## 「森友」文書改ざんの元・財務局職員「手記」を問う

「森友学園」関連の文書改ざんを財務省理財局から指示され、苦悩の末に自死された故・赤木俊夫さん(元近畿財務局職員)の手記が、3月中旬に週刊誌で報じられました。

私はこれを予算委員で読み上げ、安倍首相の真意を問いました。

安倍首相の答弁は「財務省の報告書と同じ認識」で文書改ざん問題を再調査する意思はないということ。

安倍内閣には自浄作用が全くないので、国会内に3・11原発事故の事故調査委員会のような独立した委員会を置いて、原因追究と再発防止のために、徹底的に調査するように呼びかけました。



# コロナに負けない がんばろうニッポン がんばろうの！山形

3月18日 マスク不足、歯科医療を質問 3月26日 保育園の保育士などの処遇改善を要請



## □山形県のマスク不足深刻

3月18日の厚生労働委員会にて加藤勝信大臣ほか厚生労働省に質問しました。

県内の各病院・診療所や多くの薬局でマスクや消毒用アルコールが不足しています。医療機関や不足している地域などに重点的に配分してほしいと

加藤大臣に要望。

大臣は「優先順位を決めてしっかりと配布する」と約束しましたが、その後も改善が見られず実行を強く求めています。

## □入れ歯の合金、3ヶ月ごとの価格改定実現

地元・山形県の歯科医の方々の声を受け、入れ歯に使うパラジウム合金の市場価格と「歯科診療報酬」に大きな差が出ている問題について質問。6ヶ月毎の見直しでなく、もっと短期間での対応を要求。

各団体のご要望もあり、3月25日の中医協にて3ヶ月ごとの改定も認められました。

## □保育園の人手不足対策

山形県各地の保育園や認定こ

ども園などにアンケートをお願いをし、お答えいただいたものから、質問しました。

多くの保育園が保育士など保育スタッフの人手不足に悩んでいます。

保育士さんの処遇改善を求め、地方の保育士不足の抜本的な解決策を要望しました。

厚生労働省と内閣府の保育の担当者に、保育人材不足対策及び、政府が保育士確保を目的に作った制度「処遇改善等加算Ⅱ」の使いにくさや、あまりにも古い保育の基準について質問し、保育の充実を要請しました。

内閣府からは、加算Ⅱのために必要な研修をインターネットを使った個別研修(e-ラーニング)でもOKにすることで保育士さんの負担を減らすという答弁がありました。

## 4月8日 地方経済と地域金融につき麻生大臣に問う

## □金融庁の所管大臣として麻生大臣に質問

昨年の消費税増税に加え新型コロナウイルスで県内の経済が冷え込み、地域経済だけでなく、それを支える地方銀行や信用金庫などの地域の金融機関の経営悪化までもが心配されます。全国の地方銀行のうち、昨年9月の決算の時点ですでに半分が本業で赤

字。金融庁としての対策を尋ねました。

麻生大臣は、慶應大学と連携しクモの糸の繊維を研究・人工生産する「Spiber(スパイバー)株式会社」(鶴岡市)を例に挙げて、新しい技術を持つ企業を地域金融機関も応援していくなどの取り組みを進めると答弁。

私からは山形大学での「産学金連携」に触れ、地域の金融機関が創業支援にさらに関われる

環境づくりを要請しました。政府には、かつてない経済悪化の懸念に対する危機感がなく、さらなる対策を求めました。



参議院議員 芳賀道也事務所

■ 山形事務所 〒990-0825

山形市城北町1丁目-24-15 ダイア66城北 2F-A

Tel: 023(676)5115 Fax: 023(676)5116

■ 国会事務所 〒100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館917号室

Tel: 03(6550)0917 Fax: 03(6551)0917

